

平成27・28年度

# 熊本県「生きる力」を育む研究指定校事業 学力充実研究推進校

平成28年11月28日(月) 学力充実研究発表会

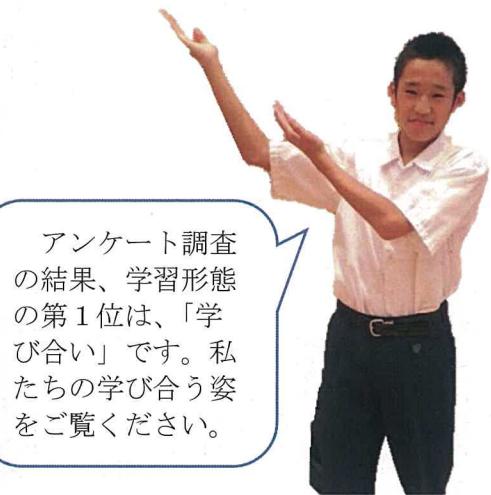
全ての生徒が参加し、「わかる」「できる」が  
実感できる主体的な学びの創造

～授業と学級のUD化で支える協働の授業づくり～



目指す授業の姿

発言力



生徒会会長

主体的な態度で授業に参加し、「わかった」「できた」「わからない」「教えて」の声が聞こえる授業

目指す生活の姿

主体性

自分で考え、判断し、行動できる個人と、互いに認め合い、高め合える集団



目指す授業、  
生活の姿は、ワ  
ークショップか  
ら導かれたもの  
です。



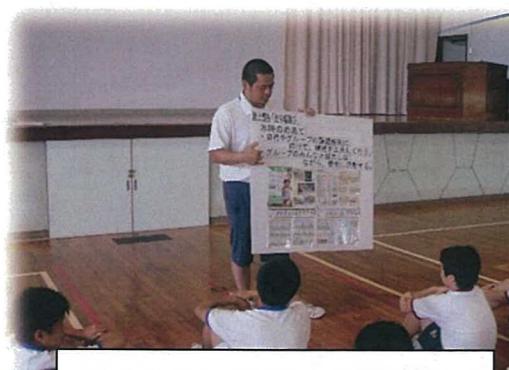
生徒会「玉中至心」ワークショップ



教職員「校内研究」ワークショップ

生徒会副会長

熊本県玉名市立玉名中学校

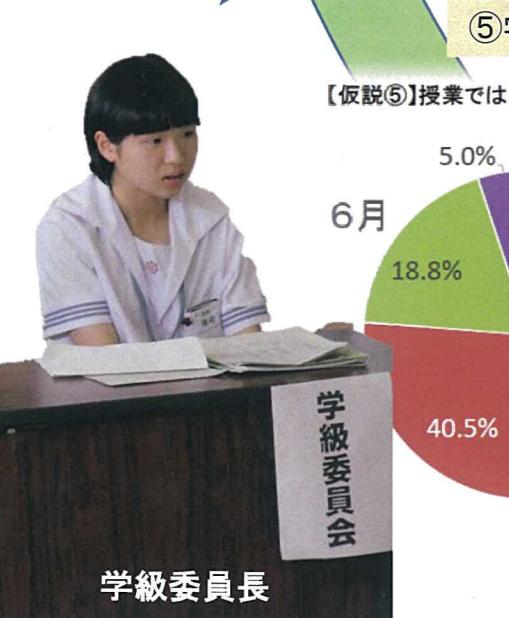


玉中校区4段階の学習過程



学習委員、教科係による2分前学習

毎月学習アンケートを実施し、研究の仮説や「学習の心得」の達成度を確認しています。更に居心地のよい学級にしたいと思っています。



学級委員長

## 学習UD部

### 【仮説①】授業UD化

- 生徒の目的意識を高める「めあてカード」の提示
- 生徒の学習意欲を高める視覚的支援
- 授業への集中力を高める教室設営の工夫

### 【仮説③】言語活動

- めあてに対応した振り返りを授業終わり5分で実施
- 学び合いで「玉中ことばわざ」を活用して自分の言葉での学習の振り返り

### 「玉中ことばわざ」



## 夢に向かって(自立)仲間とともに(協働)高め合う(創造)

## 委員会成長モデル作成

### (担当教師との協働)



成長モデル見直しワークショップ

## 協働学習部

### 【仮説②】学び合い

- 授業のねらいに沿った、目的、場面に応じた学び合いの具体的手法の提示
- 思考の質から見た協働・協調的な学びのレベルの導入

活動	思考の質	期待される姿
		協働・協調的な学び
レベル0	出し合う(正誤入り交じり)	
レベル1	伝え合う(誤→正)	
レベル2	伝え合う(正→複数の解法・考え方)	
レベル3	伝え合う(自分の考え方→再構築)	
レベル4	伝え合う(新たな価値を付加された考え方)	

※熊本県立教育センターの研究から

- 学び合いにおける主体的な姿

### 【仮説⑤】学級UD化

- 継続的な取組を通して、互いを知り認め合う支持的風土づくり
- 毎月の生徒集会で、学級目標の紹介とフロアからの返しの活動
- 「進路公開」を目指したSタイムスピーチ活動

※Sタイムスピーチ…発言力を高めるための1分間スピーチ



「教えて」から始まる学び合い



「ありがとう」があふれる学級づくり

## 【研究の仮説】

### ～生徒会との協働による学校経営～

## “目指される玉中”

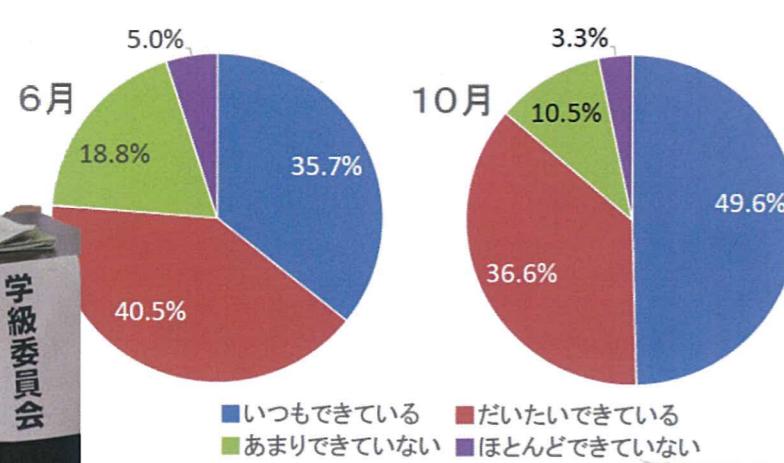
## 学習促進部

### 学習リサーチ

- 研究の仮説に対応した学習アンケートの検討および実施
- 学習アンケートと対応した教職員向けアンケートの実施
- アンケート結果の考察と各研究部会へのフィードバック

### 【仮説④】学習サイクル

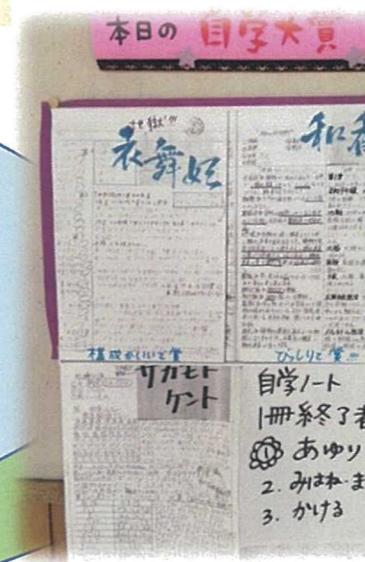
- 「家庭学習の手引き」の作成、及び、授業内容と家庭学習の連動を図る支援
- 家庭学習の習慣化を図るために、学習委員会との協働によるZTRグランプリの実施



学習アンケート結果のグラフ



学級目標の発表(月例生徒集会)

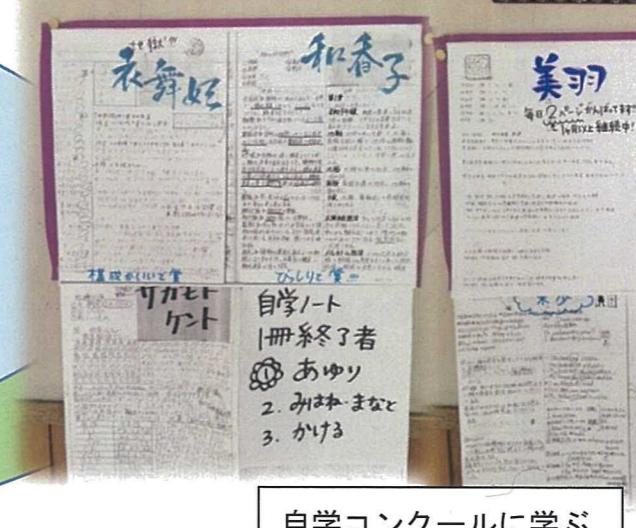


本日の自学大賞

本日の自学大賞



学習委員長



自学コンクールに学ぶ

学習委員会では、ZTRグランプリで、自学提出率がアップしました。

次は、2分前学習の定着に力を入れていきます。

※「ZTR」には、絶対自学ノートを提出しようという意味が込められています。

# 平成28年度 玉中校区共通の学習過程

学級UD化

学習サイクル

## ①授業UD化（めあて）



- 教科の特性に合わせた「めあて」「課題」「問い合わせ」の提示
- 教科を横断した4段階の学習過程

## 「②一人学び」から「③学び合い」へ



- 「学び合い」の目的に応じた「学び合いレベル」の明確化
- 学級UD化を生かした学習班の編成

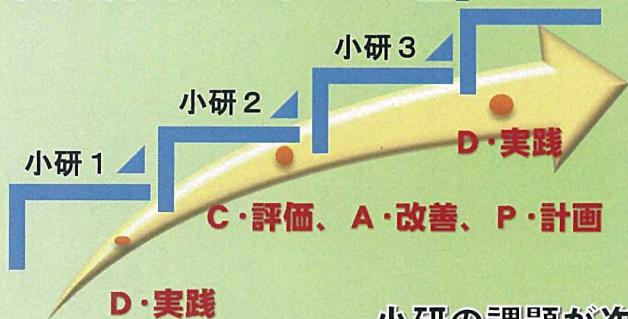
## ④振り返り（言語活動）



- 授業の終わり5分は振り返りの時間を確保
- 「めあて」の確認、自分の言葉で、ノート、ワークシートに自己評価

## 学習リサーチ

### 【玉中小研サイクルイメージ図】大研



本時の学び合いは、ねらいを達成するため有効だったのかを、その都度振り返り、次回に生かします。

小研の課題が次回の小研へ

